

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成24年11月13日
【四半期会計期間】	第51期第3四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	ダイナパック株式会社
【英訳名】	Dynapac Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 小嶋 厚
【本店の所在の場所】	名古屋市中区錦三丁目14番15号（カゴメビル）
【電話番号】	（052）971 - 2651
【事務連絡者氏名】	経理部長 草野 雅夫
【最寄りの連絡場所】	名古屋市中区錦三丁目14番15号（カゴメビル）
【電話番号】	（052）971 - 2651
【事務連絡者氏名】	経理部長 草野 雅夫
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄三丁目8番20号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第50期 第3四半期 連結累計期間	第51期 第3四半期 連結累計期間	第50期
会計期間	自平成23年1月1日 至平成23年9月30日	自平成24年1月1日 至平成24年9月30日	自平成23年1月1日 至平成23年12月31日
売上高 (千円)	33,350,744	33,338,928	45,473,862
経常利益 (千円)	1,080,105	1,030,272	1,373,191
四半期(当期)純利益 (千円)	370,151	435,540	1,070,089
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	291,414	1,633,849	1,084,963
純資産額 (千円)	27,089,000	29,119,722	27,882,089
総資産額 (千円)	51,223,945	53,672,489	52,252,216
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	7.49	8.82	21.65
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	7.47	8.79	21.59
自己資本比率 (%)	52.8	54.2	53.3

回次	第50期 第3四半期 連結会計期間	第51期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1.89	1.45

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 第50期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理をしております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社および当社の関係会社が営む事業の内容に重要な変更はありません。
 また、主要な関係会社における異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項について、新たな「事業等のリスク」の発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等は行われておりません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社および連結子会社)が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要の増勢に支えられ回復過程を辿りましたが、海外経済の減速に伴い国内生産にもその悪影響が見られ始めました。内需は、公共投資が被災地域に限らず伸びているものの、輸出や鉱工業生産の鈍化を補うほどの力強さに欠け、製造業を中心に設備投資を先送りする動きも出ており、景気回復の足取りは緩慢なものにとどまりました。

段ボール業界全体の消費動向は、電機・機械部門を除き概ね前年を上回っており、生産数量は1～9月累計(9月は速報値)では前年同期比100.7%となりました。

このような環境下当社グループは、段ボール製品の販売数量において過半を占める食料品・青果物分野を中心に前年を上回る水準を確保しました。昨秋以降、主原材料価格が上昇したため製品価格の改定に努めましたが、薄物化・軽量化の影響も受け平均販売単価は前年を下回りました。生産面においては、効率性や歩留まり向上によるコスト削減と品質管理強化に努めました。また、海外においては、ベトナム(ハノイ)における設備増強を本格化させ旺盛な需要の取り込みに成果を得ております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は333億38百万円(前年同期比100.0%)、営業利益7億37百万円(前年同期比75.4%)、経常利益10億30百万円(前年同期比95.4%)、四半期純利益4億35百万円(前年同期比117.7%)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

包装材関連事業

当セグメントにおきましては、売上高は355億77百万円(前年同期比100.7%)、セグメント利益(営業利益)は8億31百万円(前年同期比80.0%)となりました。

不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は2億6百万円(前年同期比74.0%)、セグメント利益(営業利益)は1億38百万円(前年同期比65.1%)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ14億20百万円増加し536億72百万円となりました。これは、主に前連結会計年度末に比べ株式市場が回復したことに伴い、保有している投資有価証券の含み益が増加したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1億82百万円増加し245億52百万円となりました。これは、主に短期借入金の返済などによる減少要因があったものの、投資有価証券の含み益が増加したことに伴う繰延税金負債の増加などの増加要因が上回ったことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ12億37百万円増加し291億19百万円となりました。これは、主に投資有価証券の含み益が増加したことに伴うその他有価証券評価差額金の増加および四半期純利益の計上などによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は109百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間における研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	120,000,000
計	120,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	51,612,959	51,612,959	東京証券取引所 名古屋証券取引所 (各市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	51,612,959	51,612,959	-	-

(注) 「提出日現在発行数」の欄には、平成24年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	51,612,959	-	4,000,000	-	16,986,679

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,200,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 48,680,000	48,680	-
単元未満株式	普通株式 732,959	-	-
発行済株式総数	51,612,959	-	-
総株主の議決権	-	48,680	-

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」の中には、証券保管振替機構名義の株式が17,000株(議決権17個)含まれております。

2 「単元未満株式」の中には、自己株式が428株含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ダイナパック株式会社	名古屋市中区錦三丁目 14番15号	2,200,000	-	2,200,000	4.2
計	-	2,200,000	-	2,200,000	4.2

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	627,426	658,865
受取手形及び売掛金	14,275,714	13,807,552
商品及び製品	651,438	658,194
仕掛品	196,750	212,386
原材料及び貯蔵品	1,107,662	1,012,414
繰延税金資産	565,565	512,010
その他	212,625	313,196
貸倒引当金	26,638	16,088
流動資産合計	17,610,545	17,158,531
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,328,355	16,228,025
減価償却累計額	8,745,428	8,818,338
建物及び構築物(純額)	7,582,926	7,409,686
機械装置及び運搬具	23,838,889	24,420,237
減価償却累計額	18,154,062	18,367,239
機械装置及び運搬具(純額)	5,684,826	6,052,998
土地	7,570,669	7,569,884
その他	1,996,374	2,190,121
減価償却累計額	1,382,857	1,460,177
その他(純額)	613,516	729,943
有形固定資産合計	21,451,939	21,762,513
無形固定資産		
のれん	26,919	6,729
その他	310,932	313,541
無形固定資産合計	337,851	320,271
投資その他の資産		
投資有価証券	12,113,171	13,745,937
繰延税金資産	58,670	35,599
その他	943,321	882,354
貸倒引当金	263,281	232,718
投資その他の資産合計	12,851,880	14,431,172
固定資産合計	34,641,671	36,513,958
資産合計	52,252,216	53,672,489

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,619,093	11,512,503
短期借入金	5,050,143	4,789,772
1年内返済予定の長期借入金	250,183	250,000
未払法人税等	84,553	128,033
賞与引当金	359,036	560,750
その他	2,736,432	2,630,897
流動負債合計	20,099,443	19,871,957
固定負債		
長期借入金	312,500	125,000
繰延税金負債	1,747,887	2,310,511
退職給付引当金	1,869,512	1,916,849
その他	340,783	328,448
固定負債合計	4,270,683	4,680,809
負債合計	24,370,127	24,552,766
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,000,000	4,000,000
資本剰余金	16,986,679	16,986,679
利益剰余金	6,741,570	6,778,867
自己株式	988,960	982,846
株主資本合計	26,739,290	26,782,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,467,922	2,659,132
為替換算調整勘定	364,534	357,435
その他の包括利益累計額合計	1,103,388	2,301,697
新株予約権	39,411	35,325
少数株主持分	-	-
純資産合計	27,882,089	29,119,722
負債純資産合計	52,252,216	53,672,489

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	33,350,744	33,338,928
売上原価	27,687,247	28,083,841
売上総利益	5,663,497	5,255,086
販売費及び一般管理費	4,684,902	4,517,373
営業利益	978,594	737,712
営業外収益		
受取利息	4,895	4,900
受取配当金	136,522	151,732
受取保険金	18,015	70,576
雑収入	52,853	132,697
営業外収益合計	212,286	359,906
営業外費用		
支払利息	42,667	33,904
為替差損	21,101	616
雑損失	47,006	32,826
営業外費用合計	110,774	67,346
経常利益	1,080,105	1,030,272
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,816	-
固定資産売却益	19,500	1,130
投資有価証券売却益	11,277	-
長期未払金取崩益	77,711	-
特別利益合計	112,305	1,130
特別損失		
減損損失	-	1,825
固定資産売却損	674	1,418
固定資産除却損	17,804	160,385
投資有価証券評価損	107	169,887
災害による損失	116,960	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	41,564	-
瑕疵担保責任履行損失	288,000	-
その他	61,124	38,000
特別損失合計	526,236	371,516
税金等調整前四半期純利益	666,175	659,885
法人税、住民税及び事業税	95,478	169,383
法人税等調整額	200,545	54,962
法人税等合計	296,023	224,345
少数株主損益調整前四半期純利益	370,151	435,540
少数株主利益	-	-
四半期純利益	370,151	435,540

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	370,151	435,540
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,367	1,191,210
為替換算調整勘定	61,369	7,098
その他の包括利益合計	78,737	1,198,309
四半期包括利益	291,414	1,633,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	291,414	1,633,849
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
連結会計年度末日満期手形の会計処理 連結会計年度末日満期手形の会計処理は、手形交換日をもって行っております。 なお、当連結会計年度末日は金融機関が休日のため、当連結会計年度末日満期手形が次の科目に含まれておりません。	四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理は、手形交換日をもって行っております。 なお、当四半期連結会計期間末日は金融機関が休日のため、当四半期連結会計期間末日満期手形が次の科目に含まれております。
受取手形及び売掛金 288,481千円 支払手形及び買掛金 6,058千円	受取手形及び売掛金 299,402千円 支払手形及び買掛金 5,422千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産にかかる償却費を含む。)およびのれんの償却額は次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
減価償却費 1,085,586千円 のれんの償却額 20,189千円	減価償却費 1,159,680千円 のれんの償却額 20,189千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年2月14日 取締役会	普通株式	395,797	8	平成22年12月31日	平成23年3月14日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年2月10日 取締役会	普通株式	395,198	8	平成23年12月31日	平成24年3月12日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(千円) (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円)(注)2
	包装材 関連事業 (千円)	不動産 賃貸事業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	33,104,819	245,925	33,350,744		33,350,744
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,239,403	32,544	2,271,947	2,271,947	
計	35,344,222	278,469	35,622,691	2,271,947	33,350,744
セグメント利益	1,039,101	212,785	1,251,887	273,293	978,594

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額 273,293千円には、主に事業セグメント間取引消去11,653千円、報告セグメント間取引消去 257千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 274,109千円、のれん償却額 20,189千円および未実現利益消去20,236千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(千円) (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円)(注)2
	包装材 関連事業 (千円)	不動産 賃貸事業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	33,165,431	173,497	33,338,928		33,338,928
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,411,918	32,544	2,444,462	2,444,462	
計	35,577,349	206,041	35,783,390	2,444,462	33,338,928
セグメント利益	831,479	138,491	969,971	232,258	737,712

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額 232,258千円には、主に事業セグメント間取引消去11,036千円、報告セグメント間取引消去 717千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 239,701千円、のれん償却額 20,189千円および未実現利益消去22,378千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	7円49銭	8円82銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	370,151	435,540
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	370,151	435,540
普通株式の期中平均株式数(千株)	49,425	49,406
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	7円47銭	8円79銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(千株)	152	130
(うち新株予約権)	(152)	(130)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月12日

ダイナパック株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 服部 則夫

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 晴久

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているダイナパック株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ダイナパック株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。